

保育園検診への取り組みを通じて考える

堀江 俊之

みなみ歯科診療所

バブル崩壊・政府の保険医療の解体攻撃・マスコミによる歯科バッシング等、歯科医院にとって昨今明るい材料が多くありません。また、94年の保険診療報酬改訂においても伸び率公称2.3%といわれますが、実質はそれ以下であり年々増大する人件費に追われる状況は一向に改善されるものではありません。そして医科歯科間における診療報酬格差は依然として大きな開きを保っています。これらのような情勢の中において、歯科医院の経営問題はわたしたちも例外でなく、患者数減少という影をひきずっていました。そこでこの状況を積極的に打開する策のなかの一つとして地域検診活動は存在すると考えます。しかし、元来わが国において歯科医療そのものにおいて軽視の政策がとられ、歯科検診も然りでこれが即経済効果波及するということではありません。わたしたちはここに着目し、改めて歯科検診を健康管理の一環としてあくまでも行政による援助を主体とした扱いとすることを強く希望するものであります。

わたしたち南医療生活協同組合・みなみ歯科診療所では、ほぼ開設当初から地域の保育園児の集団検診を行ってきました。この間、乳児期から幼児期の口腔衛生管理に携わってきたなかでの若干の紹介も含めて、検診その他のあり方についての提起をしたいと思えます。

1. 検診活動の概要について

わたしたちは、1981年(昭56)より星崎・みよし・名古屋キリスト教社会館・(併設障害児保育園)愛育園の各保育園における集団検診を春と

秋の年二回(愛育園は春一回のみ)行っていますが、今や各保育園の保母たちと診療所との連携など長年の検診活動のあいだに蓄積されていることは貴重であると思われます。また園児の家庭に組合員が多く、その中で密接な関係が保たれていることはいうまでもありません。過去においては各保育園との嘱託医契約を結んでいた時期がありますが、現在は結んでおりません。スタッフは歯科医師1名、歯科衛生士1~3名で、園児の人数により体制を調整します。午前9時から12時の間で多いときは140人前後、少ないときは40人くらいであります。所要時間は正味60分から90分というところですが。

基本スタイルとしては長テーブルを並列に2台置き、まず歯科医師が口腔内診査をし、衛生士①が横で検診表の記録をします。そして園児が横のテーブルに移動して、衛生士②と③がフッ素塗布などを行います。そして後日結果を集計して、お返し表の作成や統計の整理をし、要治療者について受診の機会を促すといったところであります。(資料1の①~④)

2. 検診でのエピソード

- ・腰が疲れる。
- ・保母から園児へのブラッシングについて良い方法はないかと聞かれる。
- ・障害児の検診風景—子ども診の影響あり従前より取り組んでいる。
- ・叢生歯列(乱杭歯)多し—顎の小さい……かまない子供たち。

3. 過去の統計からの考察 (資料2の①～④)

1981年春から1991年春(昭56～平3)までの10年間における星崎保育園とキリスト教社会館についての0歳～5歳児に関しての検診結果(当院)とその中の1989年度(平1)分で1歳～5歳児を抽出したグラフ(南保健所)であります。これらによると、乳歯のウ蝕罹患率・一人当りのウ蝕歯数においては、星崎保育園は南区または名古屋市の平均値またはそれ以下であり、キリスト教社会館はほぼ平均を上回ることがわかります。一方、処置歯数になるとキリスト教社会館における平均値は区や市のそれを下回っています。ここに各保育園における口腔衛生管理についての取り組みの違いが如実に浮かんでくるものであり、また各園児の家庭環境や生活水準の違いなどもここに現れているものと考えられます。実際に各保育を回っている中で、園ごとの子供たちのカラーとどこかしら相関があるようなような気がします。

四つの保育園の全般的な傾向としては、区または市のほぼ平均値内におさまっており、当院が地域における小児の口腔衛生管理に大きく貢献していると言えるでしょう。

4. 検診活動の意義について

地域における検診活動の意義としてはまず、

①地域の口腔衛生管理への援助を行うこと。

・診療所－保育園(保健所)－家庭のラインづくりを行う。

②地域の特質をつかむこと。

③疫学・統計事業。

④新患の獲得。

・小児にとどまらずその家庭の全員が当院に受診するように。サポーターづくり。(当院ではこのように表現します。)

・患者が気軽に受診し得る体制づくりを行う。

・そのための行政への働きかけ。(乳幼児医療費無料年齢引き上げ等)

5. 保育園検診活動における今後の展望について

われわれは今後も引き続き保育園児の検診を行なっていきますが、その中において基本的には上記の検診の意義にもとづいていくということだと

思います。そしてまた改めてその意義をそのつど確認し、よりよい医療の充実へと力を注いでいきたいと考えています。またそのための基盤を築くために経営問題があることを忘れてはならないと思っています。

おわりに

今や歯科においても、ただ医院内に閉じこもって手をこまねているだけではやっていけない風に変化してきていると思います。その中で、たとえば検診活動以外にも今頃評価の高くなっている老人および寝たきり者を対象にした、歯科在宅往診なども考えられます。わたしたちは、自分たちがある地域に一体何が一番求められ、かつ不足しているかを認識し、それに対する手だてを講じなければこれから生き残っていくことすらできないと思います。地域に根ざす医療をめざすのであればまず「外へ出ること」であると思います。

資料1－①

《保育園歯科検診》

●準備品

ミラー	20本
ピンセット	20本
探針	20本
大バット	4
プラスチックコップ	8
ギョウザ	人数分+α
赤青鉛筆	5
洗面器	2
ライト	2
タオル	6
手袋	7号1枚・6号3枚
指サック	
綿球	小1箱・大1箱
プラスチックケース	4
マスクン液	
フッ素	
開口器	2
ハブラシ	数本
フロス	2
ティシュペーパー	1箱

資料1-③

ゴミ袋 大2
ビニール袋 2
バケツ 1

平成 年 月 日

園名

●手順

- ・園側に検診票を順序よく並べてもらい日付を記入
- ・欠席を明確に

●検診の注意

- ・前回は参考にしながら、もれのないようチェック
- ・隣接疑わしいものは、備考欄にX-Pと記入
- ・フッ素の指示も備考欄へ指示
- ・要治療の区別をしっかりと

●塗布の注意

- ・ギョウザで唾液をぬぐいフッ素を塗布
- ・塗布後の注意をはっきり伝える

●その他

検診後、用紙をクラス分けしてもらい送ってもらう。
お返しは、遅くとも1週間ぐらいで。

歯科集団検診結果について

* 検 診 実 施 日 年 月 日 ()

* 従事歯科医師 住所
氏名

* 検 診 結 果

年 齢 (クラス別)	検診者数	*むし歯のある者の数(人)	**むし歯の数			永久歯のほえている者(人)	永久歯にむし歯がある者(人)
			未処置歯(本)	処置歯(本)	総数(本)		
5歳児クラス	28	19	41	41	82		
4歳児クラス	31	12	44	17	61		
3歳児クラス	26	8	28	9	37		
2歳児クラス	14	1	6	0	6	0	0
1・0歳児クラス	20	0	0	0	0	0	0
計	119	40	119	67	186		

*むし歯のある者：未処置歯や処置歯のある者(処置完了者も含む)

**サホライド塗布歯は、未処置歯に入れる。

**未処置歯+処置歯=総数

資料1-②

乳幼児歯科検診票 (台帳)

氏名		性別	男・女	生年月日	平 年 月 日				
年 齢 クラ ス 別	記 号	現在歯/又は—未処置歯C ₁ , C ₂ , C ₃ , C ₄				むし歯の数	萌出障害歯	治療の確認	
	検診年月日	処置歯 ○ 二次う蝕 C°	総数	未処置歯	処置歯				
歳 児 クラ ス	シーラント ⊙ 喪失歯 △	清浄状況	良・普通・不良	不正咬合	無・有()	本	本	本	本
	サホライド ⊕ 萌出障害歯 ×	歯肉炎	無・有	その他の異常	無・有()				
年 月 日	指導事項								
歳 児 クラ ス	上	E D C B A	A B C D E	上	要・済	本	本	本	本
	下	F E D C B A	A B C D E F	下					
年 月 日	指導事項								
歳 児 クラ ス	上	E D C B A	A B C D E	上	要・済	本	本	本	本
	下	F E D C B A	A B C D E F	下					
年 月 日	指導事項								
歳 児 クラ ス	上	E D C B A	A B C D E	上	要・済	本	本	本	本
	下	F E D C B A	A B C D E F	下					
年 月 日	指導事項								

資料1-④

歯科検診 お返し表

検診日 19 . . .

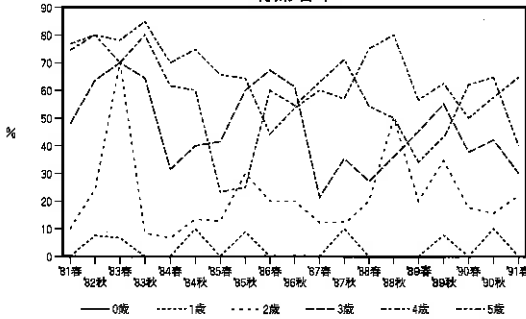
お返し ぐみ

- ▶ ムシ歯 有る・ない
- ▶ 治療の必要 要・不要
- ▶ 不正咬合 有る・ない
- ▶ その他 ()

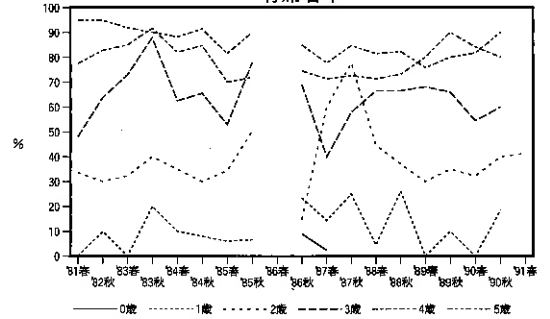
みなみ歯科診療所
(052) 611-4253

資料2-①

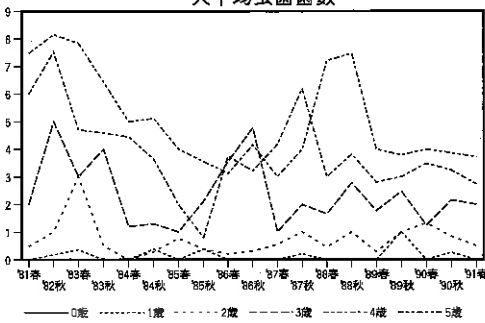
星崎保育園
有席者率



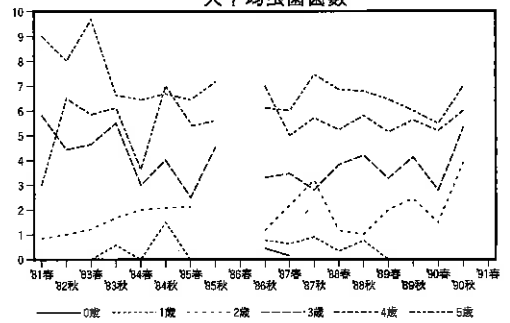
社会館
有席者率



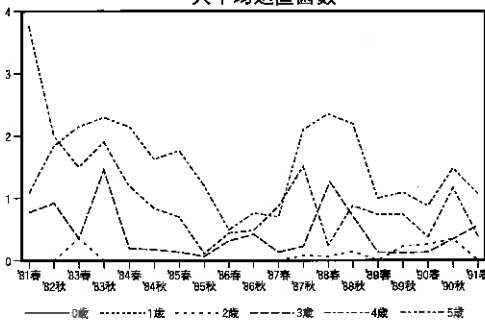
星崎保育園
一人平均虫歯歯数



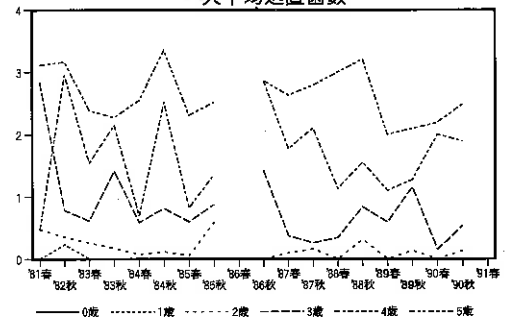
社会館
一人平均虫歯歯数



星崎保育園
一人平均処置歯数



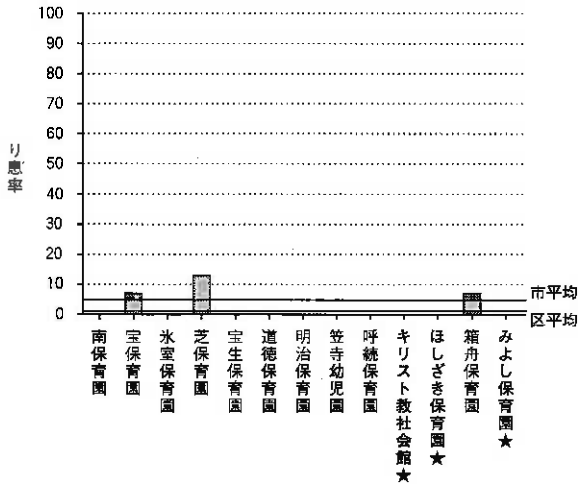
社会館
一人平均処置歯数



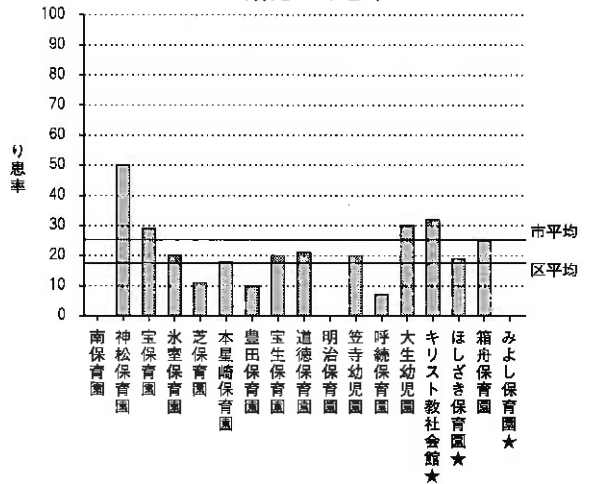
注) 社会館の'86春は不明

資料2-②

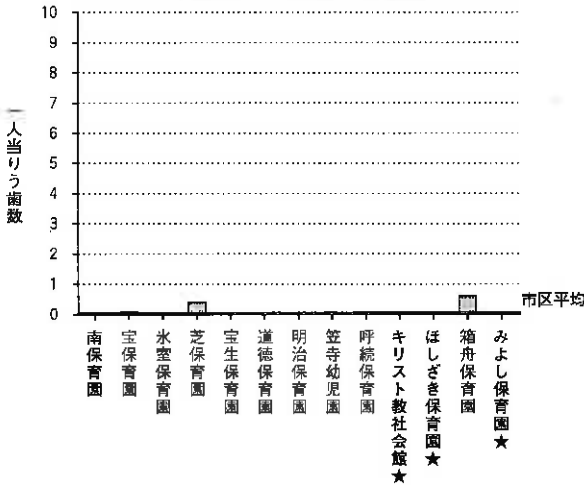
1歳児 けい率



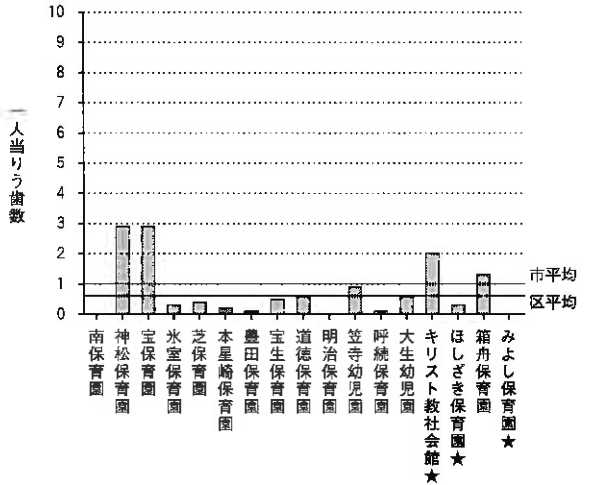
2歳児 けい率



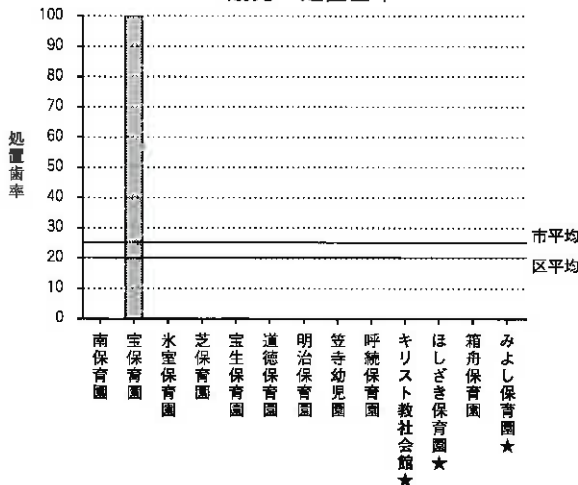
1歳児 一人当りう歯数



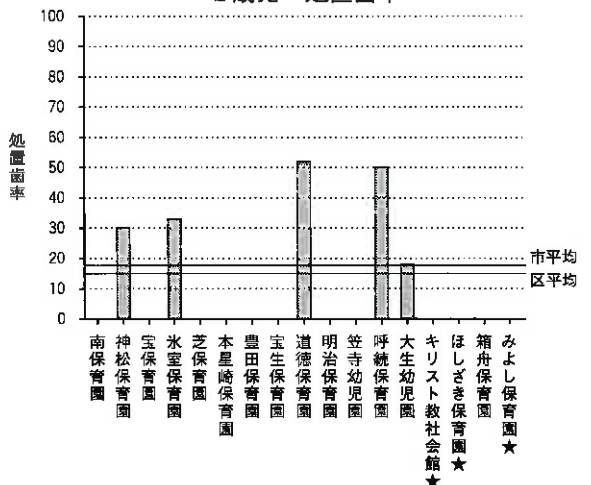
2歳児 一人当りう歯数



1歳児 処置歯率

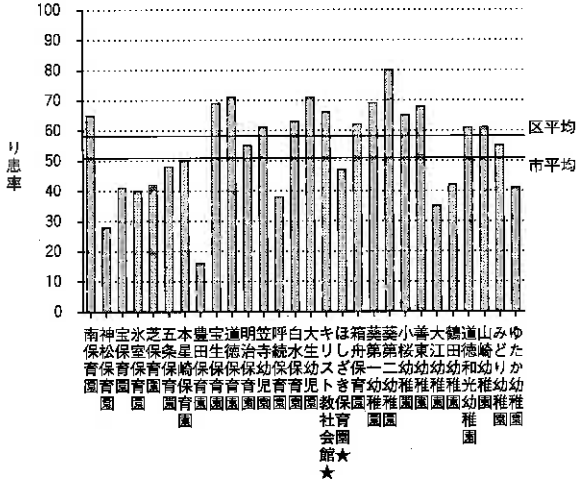


2歳児 処置歯率

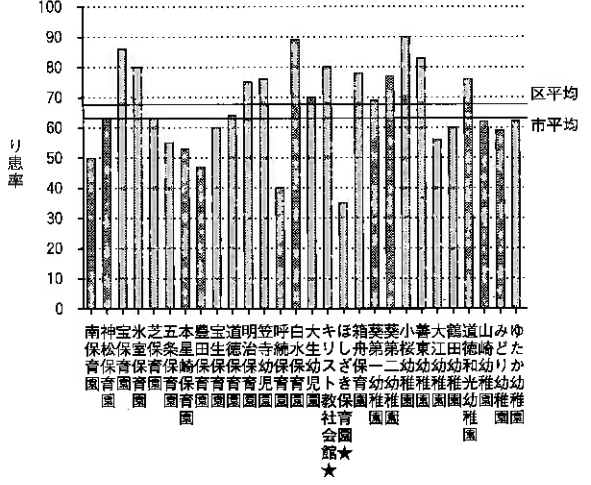


資料2-③

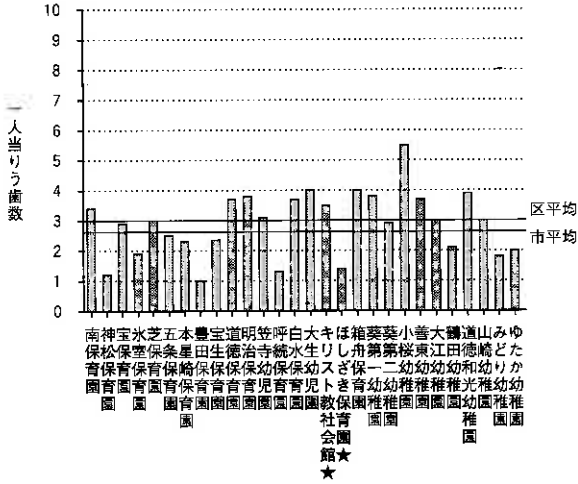
3歳児 罹り患率



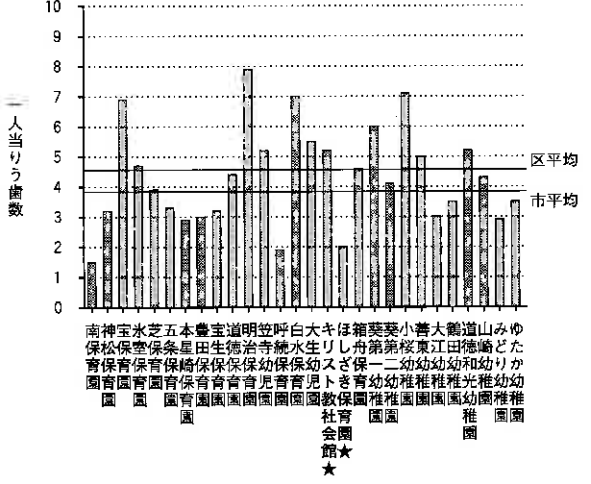
4歳児 罹り患率



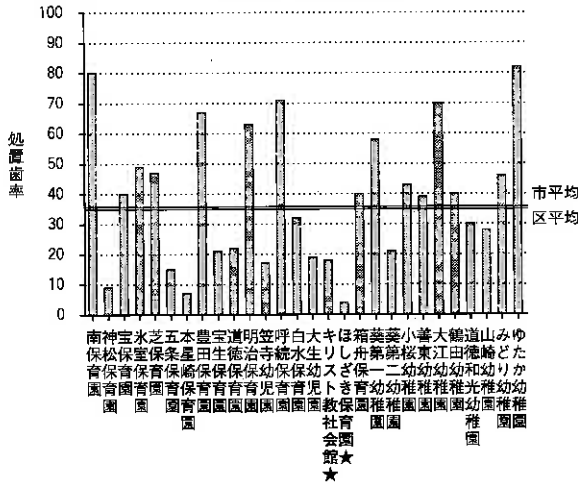
3歳児 一人当たりう歯数



4歳児 一人当たりう歯数



3歳児 処置歯率



4歳児 処置歯率

